

強調して語る (標準)

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: 忘れられない経験を、倒置と強調構文で印象づけて語れる

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

Never have I been so nervous as on the morning of the final game.

決勝戦の朝ほど緊張したことはない。

It was our captain that kept talking to us in the locker room.

ロッカールームで話し続けてくれたのは、キャプテンだった。

Only after the final whistle did I notice that I was crying.

最後のホイッスルが鳴って初めて、自分が泣いていることに気づいた。

型で書く 型で書く—強く言いたい順に前へ 思考・判断・表現

内容は自由。形だけ型どおりに。書けたら隣の人と交換して、**倒置の語順**だけをチェックし合おう。**気づき**: (1)と(3)はどちらも否定の語句が文頭にあるので、うしろは疑問文の語順です。(2)の **that** のうしろには、席が1つ欠けているはず—それも確かめて。

(1) Never have I _____. いちばん強く残っていること

(2) It was _____ that _____. その場面のいちばんの立役者

(3) Only after _____ did I _____. あとから気づいたこと

ペアで話す ペアで話す—「いちばん」インタビュー

交代で質問→答えは1文+ひとこと補足。答えに Really? か Why do you say so? を1回は返す。**気づき**: 答えるときに It was ... that ... を使うと、**相手の関心がどこに向くか**を自分でコントロールできます。

(1) What is something you have never done before?

今までやったことがないことは?

(2) Who was it that helped you the most last year?

去年いちばん助けてくれたのはだれ?

(3) Is it true that not all of your classes are difficult?

授業が全部むずかしいわけではない、って本当?

(4) When did you first notice that you had changed?

自分が変わったと気づいたのはいつ?

あいづち・返しの型: Really? Why do you say so? I see. Same here. Tell me more.

強調して語る (標準) | 自分の番

年組番名前

書く

自分の番—60語前後で書く

思考・判断・表現

Write about a day you will never forget. (忘れられない一日について書く)

①いつ・どこで (ふつうの語順で) ②その日いちばん強く感じたこと (Never have I ...) ③だれのおかげだったか (It was ... that ...) ④あとから気づいたこと (Only after ... did I ...) —の4段で、60語前後。倒置を2回以上使う。

評価

先生はここを見ます (加点式)

倒置を2回以上、語順を正しく使えている	+4点
強調構文の that のうしろに席が欠けている	+3点
自分にしか書けない具体がある (いつ・どこで・だれと)	+2点
50語以上書けている	+1点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直しで扱います。

振り返り

ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ